

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ONE文京後楽園		
○保護者評価実施期間	2026年3月23日		～ 2026年3月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年3月23日		～ 2026年3月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	4つの領域(運動、製作、プログラミング、SST)から多彩なプログラムを実施	週替わりで4つの領域から、毎月違った内容の取組を行なっています。流行りものからニッチなものまで幅広い内容で実施しています。運動は最新のガジェットや器具を使用したり、製作は実用性を意識したり、プログラミングではPCやタブレットを用いたり、SSTでは模擬店やカードゲームなど異なる療育を提供しております。	既成概念にとらわれず、児童が「おもしろい」、「楽しい」と思えるものの情報収集を行い、活動に取り入れてまいります。
2	保護者とのコミュニケーション手段としてSNSなどを活用しています	対面だけでなくSNSを使い日頃から保護者様へお子様の状況や変化について共有を行っています。また、保護者様やお子様のご要望を把握し、可能な限り応じることで信頼を得られるように努めています。	発達支援に関わらないような領域の相談業務(心理相談)などをさらに拡充していきます。
3	CT化を進め情報伝達や情報データベース化を推進し支援に活かしています	支援記録や計画書など一元的に管理し、各情報端末から即時に取り出しができるようICT化を推進しています	紙0を目指しさらにICT化を推進してまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない	長期休暇中などを利用し機会を増やしたいと思います。
2	保護者を支援するためのプログラム	ペアトレや家族参加型の研修会など実施できてない	改めてニーズを把握したうえで必要とあらば実施したいと思います。
3	非常災害時の対応	非常災害対策の研修や訓練など実施はしているが、周知が足りていない	実施状況など保護者様にも共有をしていきたい